

揖斐川町 横断歩道橋長寿命化修繕計画



大和歩道橋

平成 28 年 12 月
(令和 7 年 3 月更新)



岐阜県 揖斐川町 産業建設部 建設課

1. 道路施設（横断歩道橋）の現状と課題

1. 1 現状と課題

○揖斐川町が管理する供用中の横断歩道橋は令和7年3月31日現在2橋あり、1橋が緊急輸送道路上に設置されています。

○点検による確実な状態把握、点検結果に基づく措置が必要となっています。

1. 2 計画対象（町内道路の路線数と延長）

○揖斐川町は、1,359路線（611km）の町道を管理しています。（R7.3.31現在）

種別	路線数	総延長
1級町道	40	49.0 km
2級町道	56	54.7 km
その他町道	1263	507.3 km
計	1359	611.0 km

1. 2 計画対象（横断歩道橋）

○町内の横断歩道橋は2橋あります。（R7.3.31現在）

○揖斐管内に2橋が設置されています。

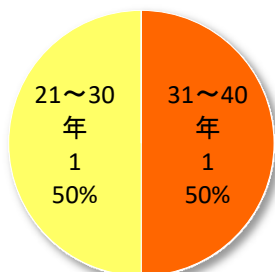
1. 3 建設後の経過年数

○建設後の平均経過年数は約32年です。

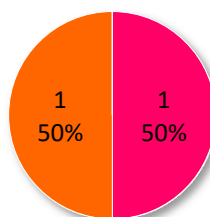
○現在（2025年）、建設後50年を越える横断歩道橋はありません。

○20年後には50年を超える横断歩道橋があり、高齢化が徐々に進む状況です。

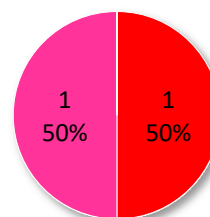
2025年現在



10年後



20年後



■ 51年以上 ■ 41～50年 ■ 31～40年

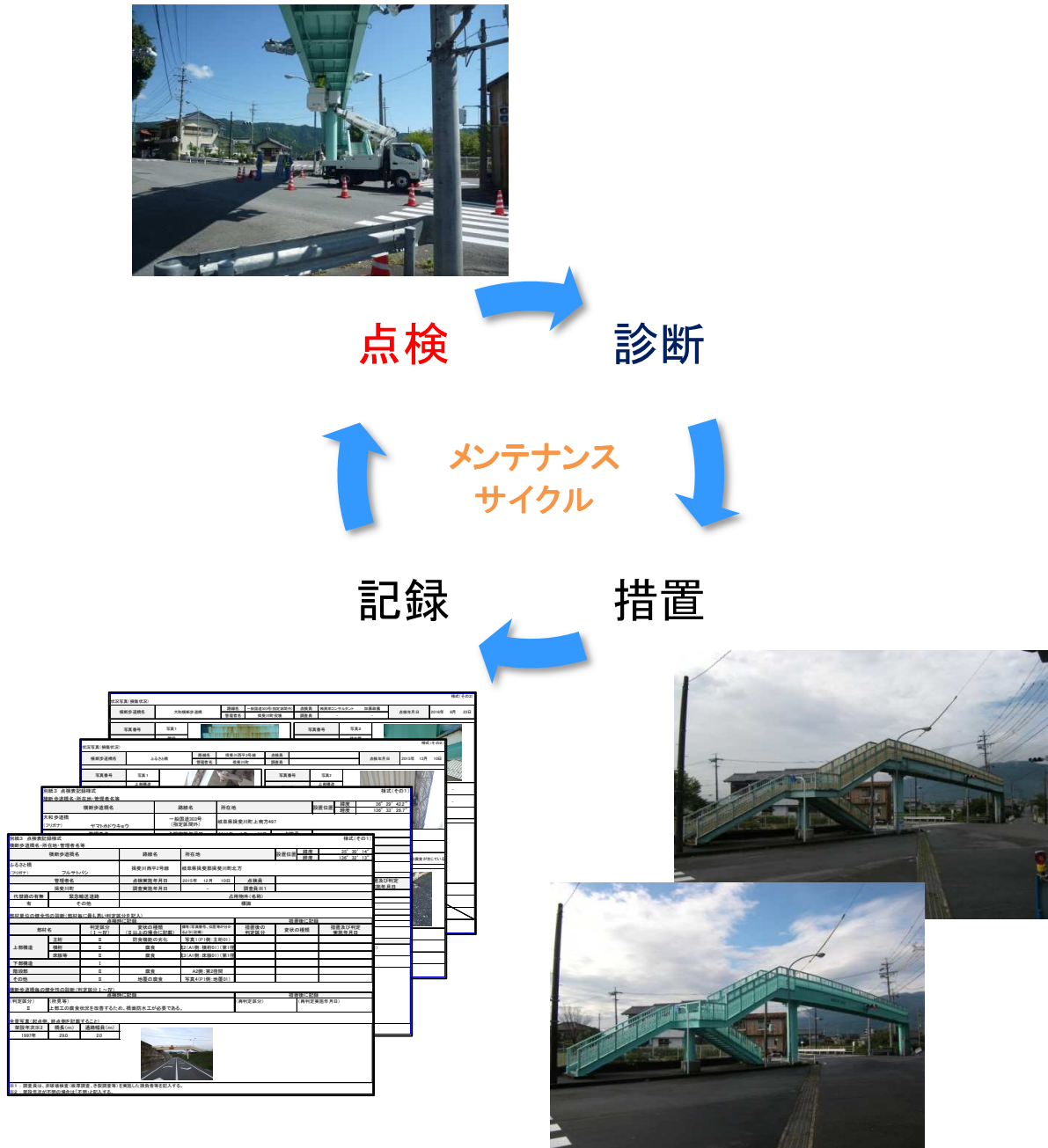
■ 21～30年 ■ 11～20年 ■ 10年以下

2. メンテナンスサイクルの基本的な考え方

2. 1 基本方針

○今後更に老朽化する道路構造物の増加が見込まれることから、以下を基本方針とします。

1. 点検、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築し持続的に推進します。
2. 今後更に維持管理・更新費用の増加が見込まれることも踏まえ、メンテナンスサイクルの推進により効率的・効果的な維持管理を実施します。



点検： 個別施設計画に基づき、定期的にトンネルの点検を実施し、変状状態の把握に努める。

診断： 定期点検結果に基づき、損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分の判定を行う。

措置： 点検結果と個別施設計画からの的確かつ効率的に補修等を行う。

記録： 各種点検結果、補修等の履歴を記録保存する。

2. 1 定期点検・診断

○横断歩道橋の点検については、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については4段階で区分します。

横断歩道橋定期点検要領（令和6年3月 国土交通省 道路局）

岐阜県横断歩道橋点検マニュアル（令和2年3月 岐阜県県土整備部 道路維持課）

※定期点検要領等が改訂された場合、最新の定期点検要領等に基づき実施する。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

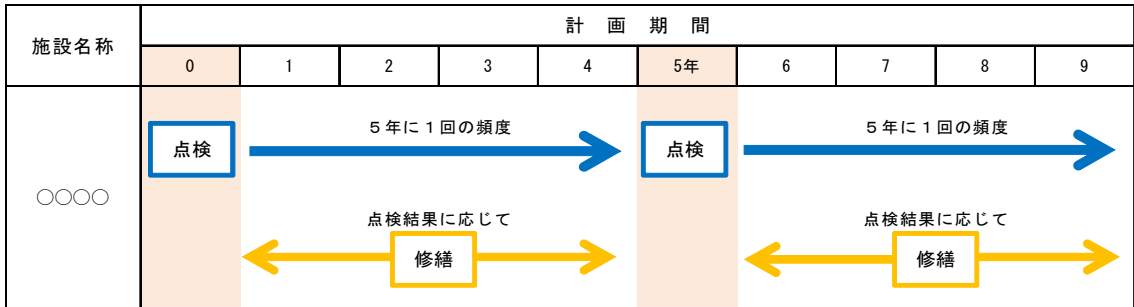


近接目視による点検状況

3. 計画期間

3. 1 計画期間の考え方

- 定期点検サイクルを踏まえ点検間隔が明らかとなるよう、計画期間は10年とします。
- 計画期間（2024年度～2033年度）における老朽化対策等は、別紙「横断歩道橋長寿命化修繕計画一覧表」のとおり。
- 点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新します。



4. 対策の優先順位

4. 1 優先順位の考え方

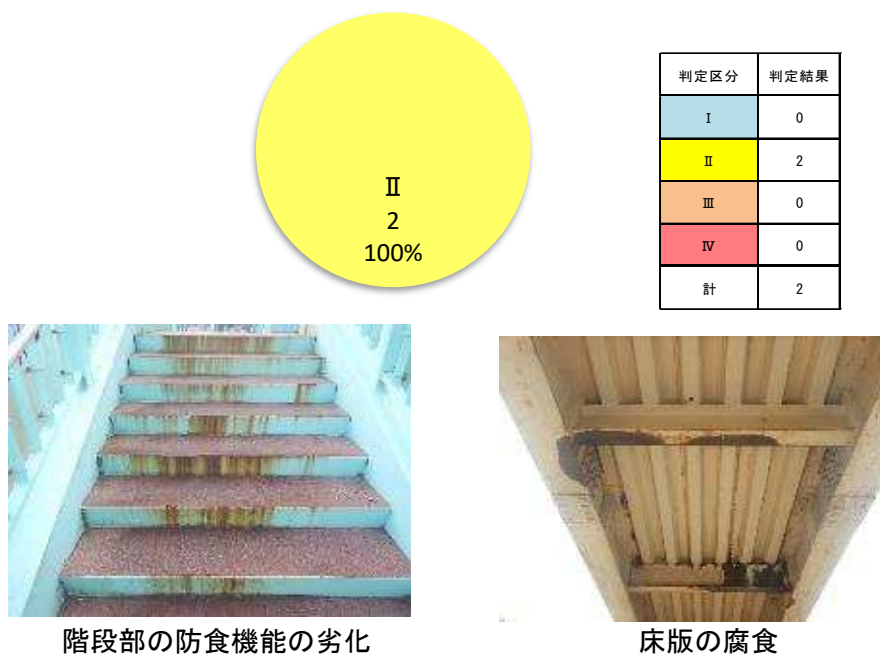
- 点検結果に基づき、効果的な維持及び補修が図られるよう必要な措置を講じます。
- 対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性の他、迂回の可否または難易からみるネットワーク、路線の重要性、第3者への影響などから総合的に勘案して判断します。

5. 施設の状態、対策内容、実施時期

5. 1 横断歩道橋の状態

- 揖斐川町が管理する横断歩道橋は2橋で、令和2年度に2橋の点検を実施し、その結果は、判定区分Ⅰ：0橋、Ⅱ：2橋、Ⅲ：0橋、Ⅳ：0橋となっています。
- 判定区分Ⅱの損傷は、腐食・防食機能の劣化によるものです。
- メンテナンスサイクルを継続的に廻すことで、横断歩道橋を長期間にわたって健全な状態に保つことが可能となります。

二巡目(R1～R5)点検結果



5. 2 対策内容

- 健全性の診断に基づき横断歩道橋の状態等を十分に把握し、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。
- 対策事例として、腐食による塗装剥離に対しては塗装塗替を実施し、機能を維持します。

5. 3 実施時期

- 実施時期は、点検結果及び維持補修の効率化等を踏まえ決定します。
- 計画期間における対策の実施時期は、別紙「横断歩道橋個別施設計画」のとおりです。

6. 新技術等の活用方針

○今後、点検に係る費用の縮減や効率化等の効果が見込まれる新技術等の活用を検討します。

7. 費用の削減に関する方針

○今後、点検に係る費用の縮減や効率化等の効果が見込まれる新技術等の活用を検討し、点検費用の削減を目指します。

○今後、迂回路が存在し利用頻度の低い以下の施設について、集約化・撤去等を検討し、維持管理費用の削減を目指します。

道路橋名	架設 年次	延長	点検 年度	判定 区分	検討方針
ふるさと橋	1997	29.0	R2年度	Ⅱ	集約化を検討

